

## カナダの金融市場動向 Weekly Report

【2017年4月29日～2017年5月5日の推移】

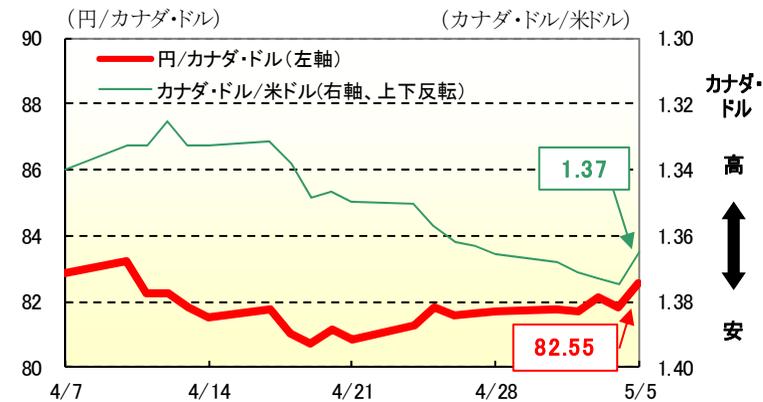
### 【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円相場は上昇する一方で、カナダ5年国債利回りは低下しました。

米国で雇用統計などの経済指標が堅調な結果となったことや、フランス大統領選挙の決選投票で中道派のマクロン氏優勢との報道があったことなどから、市場のリスク回避姿勢が後退し、円安カナダ・ドル高が進行しました。

一方カナダでは、貿易赤字が市場の予想以下にとどまったものの、雇用者数の増加は市場予想には届きませんでした。原油価格も下落したことで、カナダの金利低下圧力が高まりました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年4月7日～2017年5月5日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。  
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

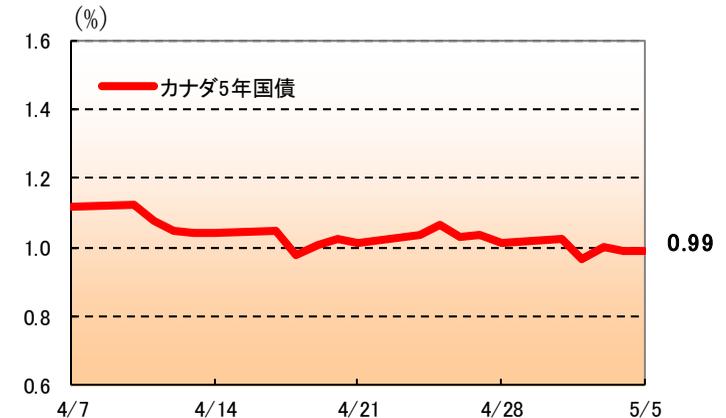
### 【2】今週の見通し

今週は、カナダでは住宅関連の指標の発表がありますが、注目度は低く、市場では株式市場や原油価格の動向に注目が集まるとみえています。

カナダについては、経済環境の好転などを背景に当面は政策金利を据え置きつつも、次の政策金利の変更は利上げ方向とみえています。世界的にも金融政策は緩和から正常化へ向かう流れとなっており、カナダは金利上昇圧力が優勢になるとみえています。

また、足元の原油価格はやや調整しているものの、産油国による生産調整意欲は強いいため、今後は底堅く推移すると見込んでいます。

【カナダ 金利推移】 (2017年4月7日～2017年5月5日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>